



住江織物株式会社

# 2012年5月期 決算概況



**Resources  
for the future.**

SUMINOE TILE CARPET

ECOS is a newly innovated recycled carpet tiles product which dramatically reduces CO<sub>2</sub> levels and contributes to the conservation of valuable natural resources for our future. The recycled material used in the ECOS backing is made up of used carpet tiles only. No plastic waste products are used at all. ECOS has overturned conventional wisdom by achieving about 70% level in recycled materials, greatly reducing the product's lifetime CO<sub>2</sub> emissions.

**ECOS**

- 1 表紙
- 2 目次
- 3 2012年5月期(2011/6~2012/5)連結業績
- 5 連結業績の事業セグメント別内訳
- 6 インテリア事業
- 7 自動車・車両内装事業
- 9 機能資材事業
- 10 連結B/S 連結C/F
- 11 連結業績の推移
- 12 2013年5月期計画
- 14 株主配当について
- 15 中期3ヵ年経営計画“Global Evolution 2015”スタート
- 21 「ECOS」新基準エコマークの認定登録第1号に

## ●Profit and Loss Statement

(単位:百万円)

	当期	前期	前期比		期初計画	期初計画比	
			(%)	(増減額)		(%)	(増減額)
売上高	75,324	70,891	6.3%	4,432	74,000	1.8%	1,324
営業利益	1,031	1,184	△12.9%	△152	1,300	△20.7%	△268
営業利益率	1.4%	1.7%			1.8%		
経常利益	1,265	1,594	△20.5%	△326	1,600	△20.9%	△334
経常利益率	1.7%	2.2%			2.2%		
当期純利益	626	662	△5.4%	△36	850	△26.3%	△223
当期純利益率	0.8%	0.9%			1.1%		

連結売上高は**753**億24百万円

(前期比44億32百万円増、期初計画比13億24百万円増)

連結営業利益は**10**億31百万円

(前期比1億52百万円減、期初計画比2億68百万円減)

## ■連結売上高および営業利益

東日本大震災の直接的な被害や電力不足による生産活動の停滞に加え、円高進行や内需の落ち込みに見舞われ、また、欧州債務問題の長期化や米国の景気減速、新興国の成長鈍化の影響を受け、不透明な状況が続いた。

そのようななか、当社グループは、同震災の復興需要や政府の景気刺激策によって売上高の増加があり、前期比増収となったが、利益面では、原材料の高騰やタイの洪水被害等が重なり、減益となった。

## ■連結経常利益

営業利益の減益に、持分法による投資損失67百万円等が加わり、経常利益は前期比3億26百万円減の12億65百万円となった。

## ■連結当期純利益

タイの洪水被害による災害損失6億34百万円(受取保険金6億18百万円は特別利益に計上)と有価証券評価損1億86百万円を特別損失に計上したこと等により、当期純利益は前期比36百万円減の6億26百万円となった。

# 連結業績の事業セグメント別内訳 (単位:百万円)

## ●Segment Information

	当期	前期	前期比(%)	前期比(額)	期初計画	期初計画比(%)	期初計画比(額)	
連結売上高	インテリア	33,746	32,617	3.5%	1,129	32,200	4.8%	1,546
	自動車・車両内装	37,558	35,037	7.2%	2,520	37,700	△0.4%	△141
	機能資材	3,910	3,084	26.8%	826	4,000	△2.2%	△89
	その他	108	153	△29.2%	△44	100	8.4%	8
	セグメント合計	75,324	70,891	6.3%	4,432	74,000	1.8%	1,324

	当期	前期	前期比(%)	前期比(額)	期初計画	期初計画比(%)	期初計画比(額)	
営業利益	インテリア	297	578	△48.5%	△280	530	△43.8%	△232
	自動車・車両内装	1,802	1,749	3.0%	52	1,820	△1.0%	△17
	機能資材	75	△43	-	119	80	△5.4%	△4
	その他	35	50	△30.1%	△15	30	17.0%	5
	調整額	△1,179	△1,149	-	△29	△1,160	-	△19
	セグメント合計	1,031	1,184	△12.9%	△152	1,300	△20.7%	△268

カーペットを中心にカーテン、壁紙等を販売

連結売上高 **337** 億46百万円

(前期 326億17百万円)

連結営業利益 **2** 億97百万円

(前期 5億78百万円)

■前期比11億29百万円増収、2億80百万円減益

(オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペット)

大型物件の工程遅れ等の影響があったものの、東日本大震災後の需要増加があり、売上高は前期並みとなった。

(一般家庭向けカーペット、ラグマット)

個人消費が緩やかに回復するなか、売上高は前期を上回った。

(カーテン)

主力の「mode S(モードエス)Vol.5」、「U-Life(ユーライフ)Vol.6」が堅調に推移し、「ディズニーシリーズ」、「デザインライフ」は好調に売上高を伸ばし、また、医療・福祉・教育施設向けコントラクトカーテン「Face Vol.17」も引き続き受注を伸ばした結果、売上高は昨期に続き前期を上回った。

(壁紙類)

「ルノンホーム1000」が堅調に推移し、売上高は前期を上回り、遮熱機能ウインドウフィルムも節電対策から伸長した。



清水建設本社ビル タイルカーペットECOS



「ディズニーホームシリーズ」

フロアカーペット、シート表皮材、天井表皮材等、自動車内装材をトータルで販売

車両内装分野を合わせた連結業績

連結売上高 **375** 億58百万円

(前期 350億37百万円)

連結営業利益 **18** 億2百万円

(前期 17億49百万円)

■前期比25億20百万円増収、52百万円増益

(国内)

当社の自動車向けカーペット事業とスミノエ テイジン テクノ株式会社のシート表皮材事業は、年度前半は東日本大震災とタイの洪水被害の影響を受けたものの、年度後半には回復が進み、また、エコカー補助金制度対象車種の受注が多かったことも功を奏し、売上高、営業利益ともに前期を上回った。

(海外)

同震災や同洪水の影響から回復傾向にあるものの、米国子会社STAは、売上高と営業利益ともに前期を下回り、中国子会社SPMは、売上高は前期を上回ったが、営業利益は前期を下回った。

トヨタ  
新型カローラアクシオ  
高通気ファブリック  
(ベンチレーション&  
ヒーター付きシート)



ダイハツ  
ミライース  
フロアカーペット  
オプションマット

## 鉄道・バスにシート表皮材やカーペット、 リサイクル性に優れたシートクッション材「スミキューブ®」等を販売

新造車両の大型案件が一段落し、加えて、東日本大震災の影響による各得意先の予算の引き締めが重なったため、シート表皮材の張替えや、カーペットやシートクッション材「スミキューブ®」の取替え工事も見送られる等、大変厳しい市場環境となった。そのようななか、バス新車規制前の駆け込み需要の取り込みや、オレフィン系表示床材「OH(オー)フィルム」等の環境商材の受注拡大に努めたが、売上高、営業利益ともに前期を下回る結果となった。



東武鉄道特急スペーシアのリニューアル車  
一般席：シート表皮材、ウィルトンカーペット、カーテン  
コンパートメントルーム：シート表皮材、絨毯、カーテン



京阪電気鉄道 13000系通勤車  
シート表皮材、OHフィルム



ホットカーペット事業、タイルカーペット輸出事業と  
独自消臭加工技術によるフィルター事業を展開

連結売上高 **39** 億10百万円

(前期 30億84百万円)

連結営業利益 **75** 百万円

(前期 △43百万円)

## ■前期比8億26百万円増収、1億19百万円増益

ホットカーペットは、省エネ商品として見直され、受注台数が大幅に増加した。タイルカーペットのOEM販売は、国内は底堅く推移し、輸出向けは、円高による影響で売上高・数量とも前期比微増にとどまった。消臭関連では、家電向け空気清浄機用フィルターの新規受注や既存フィルターの販売が伸び、一般家庭向け置き型消臭商品「香りでごまかさない 本当の消臭」も順調に販売数を増やしたことから、売上高は増加した。また、遮熱ルーフィング材等の建築資材や、土木分野の特殊遮水シートも売上高増加に寄与した。



Tispaシリーズ 脱臭・消臭剤  
「香りでごまかさない 本当の消臭」



小泉成器株式会社  
電気カーペット(一畳相当)  
カバー、本体ともに納入

Balance Sheet	当期	前期
<b>総資産</b>	<b>76,663</b>	72,877
現預金	7,112	8,247
売上債権	20,442	17,260
たな卸資産	11,246	10,587
その他の流動資産	4,526	3,314
有・無形固定資産	26,772	26,636
投資その他の資産	6,563	6,831
<b>総負債</b>	<b>47,614</b>	44,776
仕入債務	16,901	14,335
短期借入金	11,086	12,567
その他流動負債	3,465	3,675
長期借入金	5,347	3,478
その他固定負債	10,813	10,719
<b>純資産</b>	<b>29,049</b>	28,101
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	7,146	6,898
自己株式	<b>△330</b>	<b>△329</b>
有価証券評価差額金	<b>△22</b>	<b>△81</b>
土地再評価差額金	7,867	7,185
その他評価・換算差額	<b>△636</b>	<b>△620</b>
少数株主持分	2,817	2,844

【売上債権】

東日本大震災の影響回復し、売上高が増加したことから、前期比31億82百万円増の204億42百万円となった。

【たな卸資産】

国内インテリアおよび米国STAの売上高増加に伴い、前期比6億58百万円増の112億46百万円となった。

【キャッシュ・フロー】

仕入債務の増加25億65百万円による資金増に対し、売上債権の増加31億94百万円の資金減等があり、営業キャッシュフローは6億70百万円となった。投資活動のキャッシュフローは、有形固定資産の取得19億96百万円の資金支出等から△18億89百万円となった。

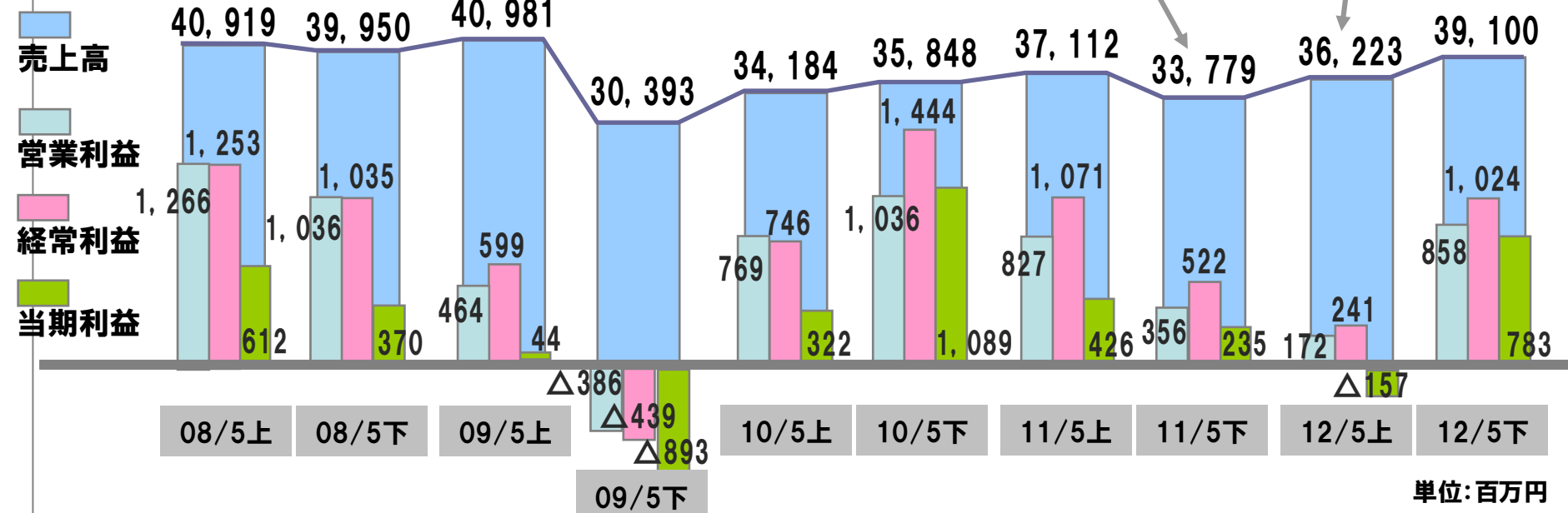
Statement of Cash Flows	当期	前期
営業活動によるC/F	670	2,479
投資活動によるC/F	<b>△1,889</b>	<b>△1,044</b>
財務活動によるC/F	310	<b>△2,105</b>
換算レート変動の影響	<b>△27</b>	<b>△67</b>
期中の増減額	<b>△935</b>	<b>△737</b>
期首の現金残高	7,827	8,564
期末の現金残高	<b>6,892</b>	7,827

# 連結業績の推移 (単位:百万円)

## 半期別推移

2008年9月 リーマンショック発生

2011年3月 東日本大震災発生  
2011年10月 タイ洪水発生



単位:百万円

	第119期(2008年5月)			第120期(2009年5月)			第121期(2010年5月)			第122期(2011年5月)			第123期(2012年5月)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	40,919	39,950	80,869	40,981	30,393	71,374	34,184	35,848	70,033	37,112	33,779	70,891	36,223	39,100	75,324
営業利益	1,266	1,036	2,302	464	△386	78	769	1,036	1,806	827	356	1,184	172	858	1,031
経常利益	1,253	1,035	2,288	599	△439	160	746	1,444	2,191	1,071	522	1,594	241	1,024	1,265
当期利益	612	370	982	44	△893	△849	322	1,089	1,412	426	235	662	△157	783	626

連結期初計画

売上高 **810** 億円

(2012年5月期 753億24百万円)

営業利益 **20** 億円

( " 10億31百万円)

経常利益 **23.5** 億円

( " 12億65百万円)

当期純利益 **15** 億円

( " 6億26百万円)

売上高		2013年5月期 計画	前期	前期比 (%)	前期比 (額)
	インテリア	34,600	33,746	2.5%	854
自動車・車両内装	42,200	37,558	12.4%	4,642	
機能資材	4,100	3,910	4.9%	190	
その他	100	108	△7.4%	△8	
セグメント合計	81,000	75,325	7.5%	5,675	

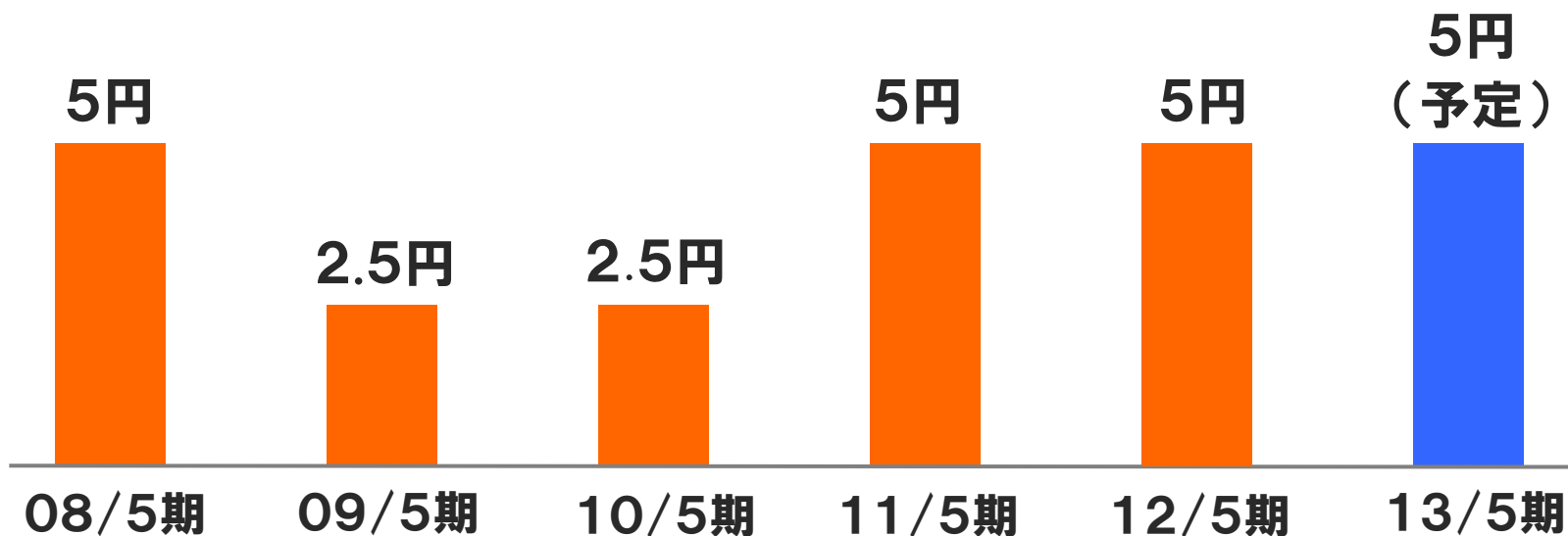
営業利益		2013年5月期 計画	前期	前期比 (%)	前期比 (額)
	インテリア	410	297	38.0%	113
自動車・車両内装	2,700	1,802	49.8%	898	
機能資材	100	75	—	25	
その他	40	35	14.3%	5	
調整額	△1,250	△1,179	—	△71	
セグメント合計	2,000	1,031	94.0%	969	

■2013年5月期計画  
わが国経済は緩やかに回復しつつあるものの、円高の高止まりや国内製造業の空洞化が懸念され、海外でも欧州債務問題の長期化、中国やインド等新興国の成長鈍化が起きている。このような状況のなか、当社は、米国STAやタイTCHSをはじめとする海外事業会社の業績回復を見込み、2013年5月期計画は、売上高810億円、営業利益20億円、経常利益23億50百万円、当期利益15億円とする。

## ■2012年5月期および2013年5月期計画について

- ・2012年5月期は、中間で2円50銭の配当を実施、期末についても2円50銭を予定しております。
- ・2013年5月期は、中間・期末ともに2円50銭、年間で5円の配当を計画しております。

## ■配当額の推移



前中期経営計画  
“Challenge 2012”

前提条件が大きく変わったため  
中途での中止を余儀なくされた

東日本大震災により市場環境が  
大きく変化

タイの洪水被害によるグローバル  
サプライチェーンの分断

同震災やタイの洪水被害の影響から抜け出し、  
新たな展望を見出せる状況となったため、

新たに、2012年6月をスタートとする、  
中期3ヵ年経営計画  
“Global Evolution 2015”を策定

**基本方針**

自動車・  
車両内装  
事業

**海外展開を中心としたグローバル戦略**

インテリア  
事業

**リサイクルタイルカーペットECOSを始めとする  
オンリーワン商品の積極的な展開**

**市場シェアの拡大と利益率の向上を目指す**



## 連結数値目標

### 3ヵ年の目標

- 売上高は100億円の増収
- 営業利益率3%以上

### 中長期の目標

- 営業利益率5%以上
- ROA(総資産経常利益率)6%以上

単位:百万円

		中期3ヵ年経営計画 “Global Evolution 2015”			
		2012年5月期実績	2013年5月期	2014年5月期	2015年5月期
売上高	売上高成長率	75,324 106.3%	81,000 107.5%	83,000 102.5%	85,000 102.4%
営業利益	営業利益率	1,031 1.4%	2,000 2.5%	2,630 3.2%	2,920 3.4%
経常利益		1,265	2,350	2,980	3,290
当期純利益		626	1,500	2,000	2,200
ROE(自己資本当期純利益率)		2.4%	5.6%	7.2%	7.6%
ROA(総資産経常利益率)		1.7%	3.1%	3.8%	4.2%

## セグメント別収支計画

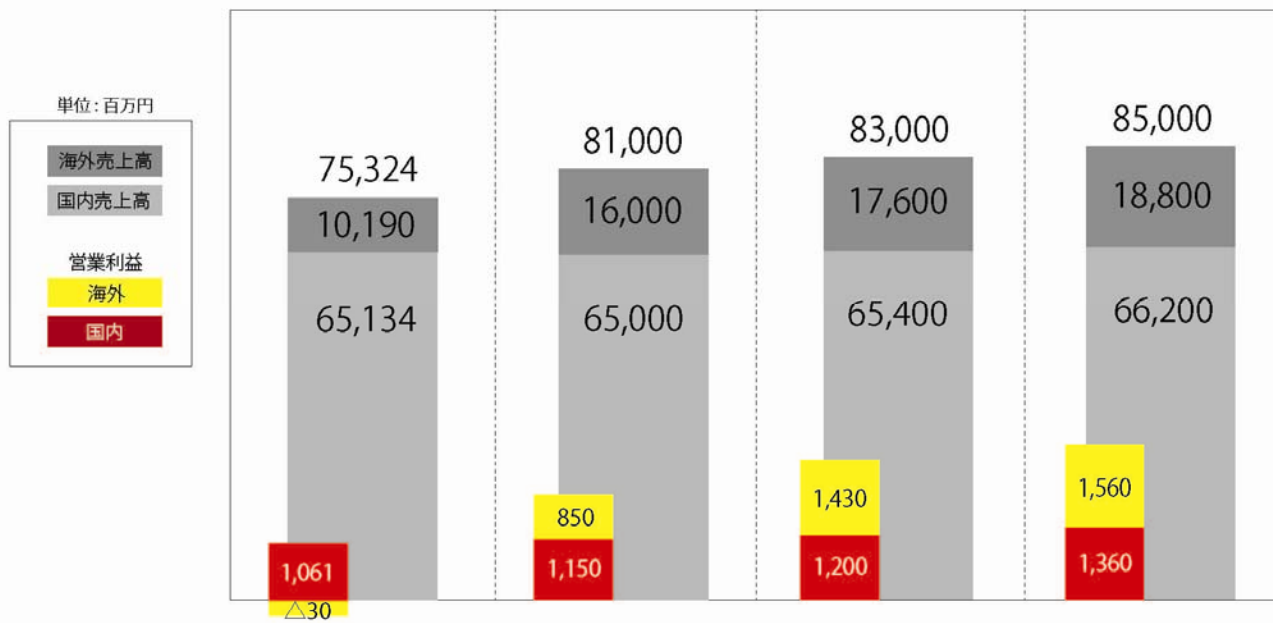
単位：百万円

売上高	インテリア事業	自動車・車両 内装事業	機能資材事業	その他	調整額	合計
2012年5月期	33,746	37,558	3,910	108	—	75,324
2013年5月期	34,600	42,200	4,100	100	—	81,000
2014年5月期	35,000	43,400	4,500	100	—	83,000
2015年5月期	35,600	44,500	4,800	100	—	85,000

営業利益	インテリア事業	自動車・車両 内装事業	機能資材事業	その他	調整額	合計
2012年5月期	297	1,802	75	35	△1,179	1,031
2013年5月期	410	2,700	100	40	△1,250	2,000
2014年5月期	530	3,140	120	40	△1,200	2,630
2015年5月期	640	3,260	180	40	△1,200	2,920

## 海外事業の拡大

自動車内装材事業を中心に海外比率を高め、グローバル経営を進めます。2年目の2014年5月期には海外グループの営業利益が国内グループを上回ります。



	2012年5月期実績	2013年5月期計画	2014年5月期計画	2015年5月期計画
売上高	75,324	81,000	83,000	85,000
海外売上高 (地域別内訳)	10,190 北米 : 5,126 アジア他 : 5,064	16,000 北米 : 8,400 アジア他 : 7,600	17,600 北米 : 8,600 アジア他 : 9,000	18,800 北米 : 8,800 アジア他 : 10,000
海外売上高比率	14%	20%	21%	22%

## 投資計画

投下資本のリターンを重視した効率的な投資を基本方針とし、製造設備を中心に40億円の投資を行います。

3ヵ年合計	国内	海外	IT
40億円	20億円	16億円	4億円

## 株主還元について

株主のみなさまへの利益還元を重要な経営課題と位置付け、安定的な配当と業績の動向を勘案しながら、適正な成果の配分を実施することを基本方針としております。また、配当時期については、中間および期末の年2回を基本といたします。

## 2011年7月に発売した循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS」は、新基準のエコマークの認定登録第1号となりました。

今回制定された認定基準では水平リサイクルの考え方がはじめて導入され、

- ①廃タイルカーペットによるポストコンシューマ再生材料が製品全体質量比で10%以上
- ②ポストコンシューマ再生材料が製品全体質量比で25%以上の2点を同時に満たすものとしています。



### [新基準エコマークの表示一例]

(ECOS LX シリーズの場合の表示です。)



エコマーク商品  
再生材料(廃タイル  
カーペット70%)  
を使用  
12 123 006  
住江織物株式会社

### 新基準 対象商品一覧

商品ブランド名 新認定番号

- |                |            |
|----------------|------------|
| ・ ECOS LXシリーズ  | 12 123 006 |
| ・ ECOS LPシリーズ  | 12 123 007 |
| ・ ECOS SGシリーズ  | 12 123 008 |
| ・ ECOS iDシリーズ  | 12 123 009 |
| ・ ECOS GP-6800 | 12 123 010 |
| ・ ECOS DR-400  | 12 123 011 |

## ▶▶ 高い再生材比率

ポストコンシューマ再生材比率が**最大で77%**を達成。

※ポストコンシューマ再生材 ・・市場から回収した廃材をもとにした再生材料

## ▶▶ 高い安全性、品質

再生材の中には、材料由来を特定出来ないものも多くあるなか、ECOSは再生材を使用済みタイルカーペットに限定することで、材料由来を明確にし、安全性を確保。

## ▶▶ 高いCO2削減率

**最大43%**のCO2削減率(当社従来品比)を達成。

(みずほ情報総研株式会社によるLCA評価にて)